

DDFLフィッシャー連鎖への変更の影響について

平成17年度確報からDDFLの推計方法をフィッシャー連鎖に変更したことによるデフレーターへの影響について、DDFLの各分野（「生産」、「輸入」、「輸出」、「家計消費」、「固定資本形成」、「中間消費」）ごとに、コモ6桁品目を積み上げた総合デフレーターで比較を行った。

この結果、平成17年暦年値では、全体としてDDFLのフィッシャー連鎖化による影響は軽微であった。これは、次の2点の要因が相殺しあった結果であると考えられる。

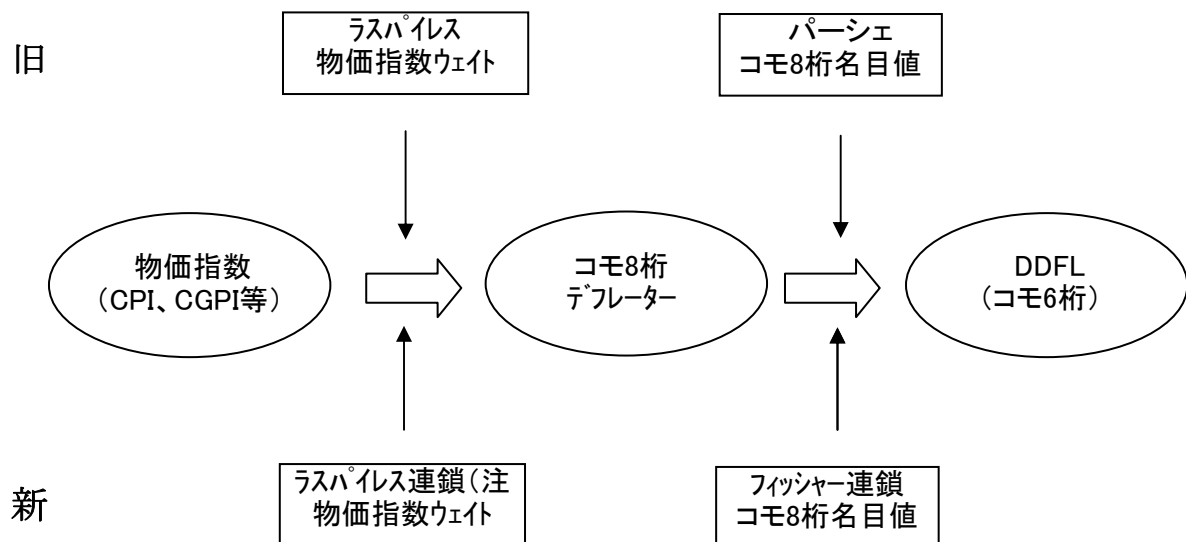
- ① コモ8桁レベルへの統合がラスパイレスからラスパイレス連鎖になったことによる上方バイアスの是正
- ② コモ6桁レベルへの統合がパーシェからフィッシャー連鎖になったことによる下方バイアスの是正

なお、輸出入で若干の乖離が生じているが、これは輸入では①の要因が、輸出では②の要因が強く現れた品目があったためである。

表 DDFL分野別総合デフレーターにおけるフィッシャー連鎖とパーシェとの比較（平成17年暦年値）

	生産	輸入	輸出	家計消費	固定資本形成	中間消費
フィッシャー連鎖(a)	96.9	110.9	97.8	95.6	86.5	100.5
パーシェ(b)	96.8	111.2	97.5	95.6	86.5	100.5
(a)-(b)	0.0	▲ 0.3	0.3	▲ 0.0	0.0	0.0

図1 DDFL推計概略

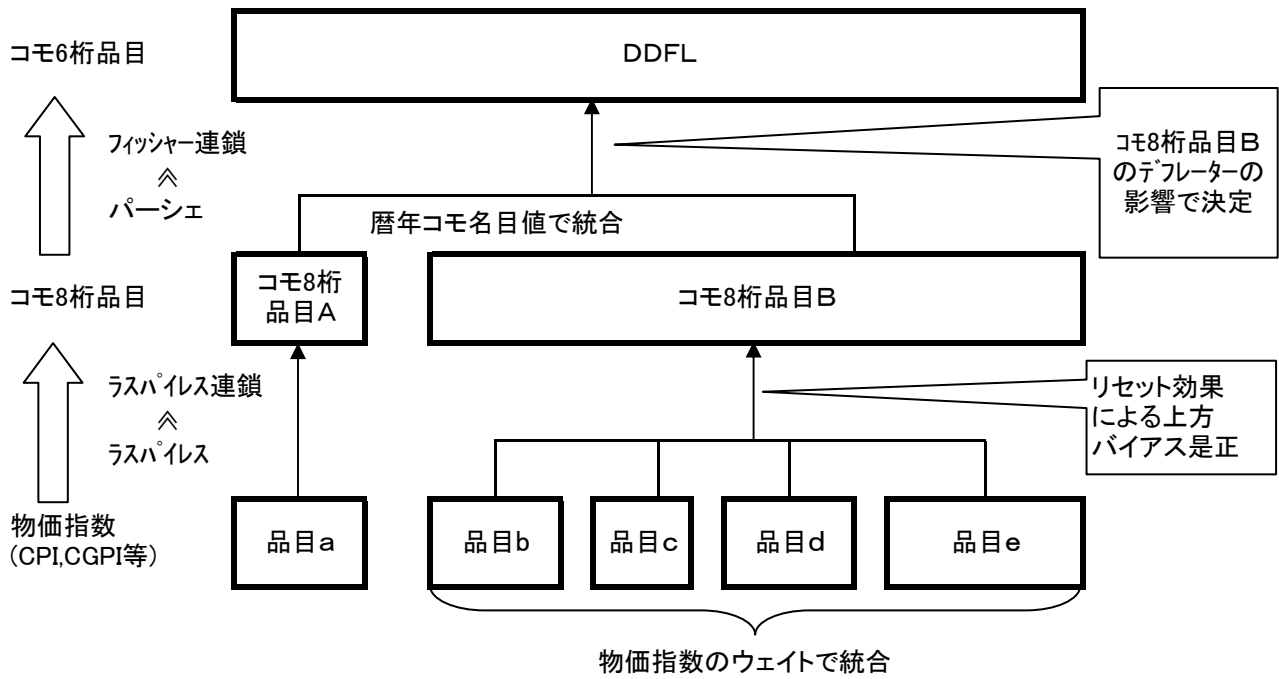


注）品目間のウェイトは物価指数のウェイトで固定している。

図2 DDFL修正の主なケース

下方修正の例

多数の物価指数が対応しているコモ8桁品目が、コモ6桁内での主要な品目である場合。
輸入の「その他の非鉄金属地金」など



上方修正の例

コモ6桁品目内のコモ8桁品目が細分化されていることから、コモ8桁品目と物価指数とが1対1で対応している場合。
輸出の「熱間圧延鋼材」など

